



市民の皆様の安全安心な暮らしを作るのが、
「建築技術職」の役目だと思うので、
とてもやりがいを感じています。

建築技術職 建築部 建築指導課

安部 雅人 (あべ まさと)

平成28年度入庁

なぜ、倉敷市職員に？

私は大学時代に意匠系の研究室に所属し、都市計画・建築計画について学び、その中で、建築物の魅力がまちの魅力に繋がることを教わりました。その時から、生まれ育ったまちである倉敷に、貢献できるような仕事をしたいという思いが強くなりました。

大学卒業後、市内の建設会社で4年間勤務しましたが、県外の仕事が多かったため、地元で貢献することがあまりできていないと感じていたところ、倉敷市職員の募集がありました。その時、大学時代に抱いた自分の思いが一番実現できるのは自治体職員ではないかと考え、魅力を感じて、倉敷市職員を志望しました。

現在担当している仕事内容は？



私の仕事は、古い木造住宅の耐震改修等の補助金交付業務、建築に関する市民相談・違反指導、道路の調査及び指定、建築物の定期検査に関することなど、多岐に渡ります。

その中でも、もっとも印象に残っていることは、住宅の耐震診断や耐震補強計画の補助金交付業務を行っている時に、補助金の申請者の方からお礼を言われたことです。

私が、ある方の住宅の耐震診断や耐震補強計画の補助金申請の説明をさせて頂いた際に、「具体的にどういことをするのか、分かりにくい」と注意を受けました。それ以降、申請者の方々が内容を理解できるように、補助金交付手続きの流れについて丁寧に説明し、希望を伺いながら耐震補強の方法等について、過去の事例を基にスケッチを描いて説明するよう改めたところ、「分かりやすい説明をありがとう」とお礼の言葉が頂けるようになりました。

申請者の多くの方は、今自分が住んでいる建物が地震の時にどうなるか不安に思われています。また、どのような工法で建物を耐震補強するのか、工事期間をどのくらい要するのか、費用をどのくらい要するのか等、わからないことも多いため、更に不安を抱えています。私はこの経験を通して、申請者の方への説明で、過去の物件で用いた補強工事の事例や工事期間、費用などを出来る限り説明し、申請者の方が安心して、希望に沿った改修工事が行えるように、親身になって話を聞く事を心掛けています。

地震における被害については、多くの方が不安に思われています。私の仕事である木造住宅の耐震改修等の補助金交付業務は、地震時の被害の軽減に繋がるものです。その補助金を活用していただくためにも、わかりやすい丁寧な説明をすることが大事だと感じています。

市民の皆様の安全安心な暮らしを作るのが、「建築技術職」の役目だと思うので、とてもやりがいを感じています。

倉敷市職員になってよかったことは？

倉敷をより良いまちにするために、業務を通して貢献できるため、とてもやりがいを感じています。市の業務はとても幅広く、わからないことばかりですが、どの職場にもベテラン職員がおり、気軽に相談できるため、安心して業務に取り組みます。また、職場の雰囲気も良く、同僚や先輩職員と業務をお互いにフォローできる体制も整っているため、仕事とプライベートの両立も行きやすい職場環境だと思います。



志望者に向けてメッセージ

建築技術職の仕事は、建築物に関する許認可、公共建築物の設計・工事監理、教育施設の維持管理など、部署によって業務内容は大きく異なります。また、同じ部署内でも毎年違う業務を経験することも多いため、業務を通して勉強していくことも多く、幅広い知識が必要になります。その分、やりがいや達成感も大きい仕事だと思います。倉敷のまちをより良くするために、一緒に頑張りましょう。